

火の魂ファミリーのみんな、いつも本当にありがとう。

2月が終わり、卒業のシーズンである3月が始まりまた春がやってきたね。門出と出会いの季節でもあるから、一日一日を大切に過ごしてってください。

今日は、卒業と入学の季節だから社会人と学生の違いなんて書いてみたいと思う。学生と社会人の違いは、私が思うには「与えられる側」から「与える側」に立ち位置が変わる事が大きな違いだと思っている。

この違いが腑に落ちたときが、学生の感覚から本当の意味で社会人に変わる瞬間なのだと思うし、意味がわからなくても与える事を意識して仕事をしてほしいね。

それでは、具体的に学生のときに与えられていた事とは何かというと、衣食住・生活するうえで必要な物、お金、学費、勉強する機会、学ぶ場所などで、それらは家族や社会、先生、周りの大人達によって多かれ少なかれ用意されていたと思う。

しかし、社会人になるという事は、これら与えられている事と与えられないで自分の力で生きていく事で、それが社会人の第一歩であり、一人前の社会人になるという事は、自分の事だけではなく、自分以外の誰かに与えられる存在となる事だと思う。

学生の頃は、生きていく術は周りの大人達が用意してくれたが、社会に出たら自分の事は自分で用意する必要がある。さらに一人前の社会人である大人になるという事は、自分や家族や子供、後輩や年老いた親や家族たちを支え与える力をつけるという事だ。ぜひ、今から社会に出る学生たちは、社会に出て人の役に立ち与えられる仕事をしてほしい。

誰かの支えになれる仕事、誰かの力になれる仕事、誰かに良い影響を与えられる仕事、誰かに夢を与えられる仕事、誰かの幸せに貢献できる仕事、身近な人でも、地域の人でも、少なくとも多くても自分の仕事で与えられることをしてほしい。

そんな仕事をしている人は、必ず人から必要とされて、感謝されて社会で活躍し、社会人として成功していく。

私も火の魂カンパニーの発展を通して、社員の人生に貢献し、お客様の幸せな時間に貢献し、我々大人たちが輝いて一生懸命働く姿を子供たちに見せて「あんな大人になりたい！」と夢を与える仕事をしたいと思っているし、我々の発展が地域の活性化に役に立っていると信じている。

今から社会に出る学生のみんな、輝く大人になって子供たちに良い影響を与えられる存在になり、私と一緒に地域や身近な人を明るく元気にしていきましょう！！